

整備効果①:所要時間の短縮や交通ネットワークの充実 ～目的地により早く、より確実に～

利用者のほかにも、物流会社やバス事業者から喜びの声をいただいています。

- ・圏央道利用者からは、「移動時間が短くなった」との声を多数いただき、効果を実感して頂いています。(例:相模原愛川IC周辺～厚木IC間で約20分短縮)。
- ・物流企業からは、定時性の確保による安定的な配送が可能になったとの声もあり、企業活動にも圏央道が貢献しています。
- ・バスルート圏央道利用に変更し、所要時間が短縮。利用客からも好評で、利用客も2割程度増加。

圏央道沿線の企業や商工会等の声

物流企業の声

圏央道を利用することにより、**移動時間が読めることが最大のメリット**。安定したダイヤを組むことが可能となり、朝の拠点から各店舗への配送、夕方の各店舗から拠点への配送などにおいて、**約20分の短縮**が図られている。

圏央道利用者の声

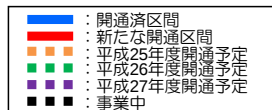
厚木から相模原へ20～30分早く着くようになった。

商工会の声

開通区間を使うと、横浜方面や小田原方面の**移動時間の短縮は実感**できる。

バス事業者の声

千葉県内と羽田空港・横浜方面を結ぶ路線は圏央道を利用したルートに変更したことで**所要時間が短くなり**、お客様から「早くなった」とご好評をいただいている。**ご利用客も2割程度増加**した。



※1の区間の開通時期については検討が必要
※2の区間の開通時期については土地収用法に基づき手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

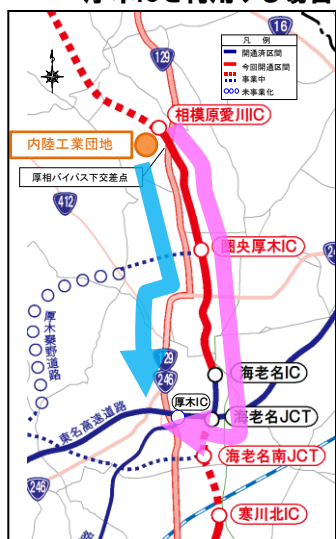
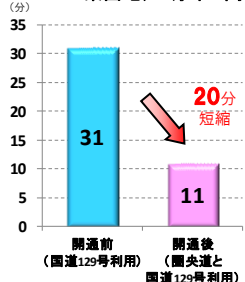
工業団地組合の声

県道42号線の相模川渡河部の座架依橋の渋滞が、開通後はほぼ解消した。

所要時間の短縮

相模原愛川ICに近接する内陸工業団地から厚木ICを利用する場合

厚相バイパス下交差点(内陸工業団地)～厚木IC間



交通ネットワークの充実

開通後の高速バス路線

